

あけましておめでとようございます。

皆様には、いつも「VG槻輪」の活動にご支援とご協力を頂き本当に有り難う御座います。

2013年を振り返ると、1月16日アルジエリアの天然ガス精製プラント建設現場で、日揮のエンジニアの方の人間拘束事件が起きました。同じように砂漠の中でプラント建設を指揮してきた者として耐え難い事件でした。

秋には、明るいニュースとして、2020年夏季五輪の開催都市に東京が選ばれたことです。1964年東京オリンピックの開催に合わせて、世界一安全で早い新幹線を作るのだと、沼地の中に新大阪駅の建設に燃えていたことを思い出します。

VG槻輪は、2月1日に「VG槻輪だより」第百号(記念号)が発行出来たことです。毎月1回も遅れること無く発行できたのも、編集を担当して頂いた方の努力と皆様方のご協力のおかげです。



今年、会創設から10年目に入ります。

毎年度、会運営費の中で会員の会費は2%程度となつていきます。これは会員の皆様の事業活動で会が活性化し、運営されていることを意味しています。

毎年活動内容を見直し、より良い活動を展開するよう努力してまいりました。しかし、事業の大半が、パソコン教室やフリーマーケットの事業で、会の活動が安定していく為には、3本の柱が必要と思つていきます。

他の活動は、会員や他の団体との研修や相互の親睦及び共栄の為に必要な活動で今後も広く展開して行きます。さらに会を充実させる為に新たな事業展開を考え活性化して行きたいと考えています。新規事業には、新たな会員の参加も必要です。皆様から新たなアイデア・提案を出し合つて会の活性化をはかりましょう!

2014年元旦 VG槻輪会長 大岡成一 “昔々の電話の話” 10

昭和45年は日本万国博覧会が開催された年です

ですが、この年私は勤続30年を迎えました。勤続30年になると電電公社総裁から、永年勤続の表彰があります。賞状と金一封と時計が贈呈されます。その年大阪中央電話局で表彰を受けた女子は15・6名だったと思えます。同期の人たちみんな

で相談して、金一封を使つて八丈島へ旅行しました。懐かしい思い出です。

万博では、アメリカ館、イギリス館などと並んで、電気通信館が開設され、テレビ電話や携帯電話のデモンストラーションが行われ、私たちは大勢の人波に吞



まれながらそれらの展示をとても誇らしく思

いながら見学しました。私が就職した頃の大阪の電話は半分くらい手動式局でしたが、加入者台、公衆電話台ではお客

様から呼びがあると、交換手が点火しているラン

会員だより

プの下のジャック(穴)にコードを挿し「何番へ」と言います。これは明治に開業したときからそうだったようで、「何番へお接ぎしましょうか」ということだったと思います。「何番へ」は歌うような調子のアクセントはつけず、「ナ・ン・バン・へ」と平板に発音します。

その頃対用語の競技会があつて、各分局から選手が出て競い合うのです。

「何番へ」「どちらへ」お掛けになりますか」などの用語の審査があります。また度数計算競技というのもありました。これは当時電話料金がそれぞれ

の加入者ごとに設けられた度数計があつてそれを2人1組で1人が読み上げ1人が記入します。1分局は4桁の番号ですから9999番まであり約1万件を調査、計算して

ふるさと農園

初冬に向かう畑

今年は天候不順で、秋が極端に短く夏から冬に入った感の畑も気候には敏感に対応しています。

暑い日が遅くまで残ったので虫にとっては葉っぱなど食べ放題。

12月に入ってからは急に寒くなり虫たちもあわてたことでしょう。S・O



すが、その後電気通信省(昭和24年)、日本電信電話公社(昭和27年)、日本電信電話株式会社(NTT・昭和60年)と変遷し大きく発展を遂げて今日に至っています。

私が42年間勤めさせていたいただいた間のことを思い出すままに綴つてみました。 F・M (槻輪HP 古今東西に、1〜10まであります。)

VG槻輪 新年親睦会

1月23日(木) 11:30 年の初めにみんなで集まり楽しく過ごしましょう。(詳細は別途連絡します)